

しんろ・しごと部会

1 今年度の活動目標・目的

「障がい者雇用促進を目的に、障がい者雇用事業所連絡会との連携を図り、新たな就労支援の仕組みを構築する」

2 部会開催状況

- ① 6月17日(月) 13時30分～15時30分 出席者 17名
- ② 9月4日(水) 10時00分～12時00分 出席者 19名
- ③ 1月24日(金) 10時00分～12時00分 出席者 19名
- ・2月6日～21日 障がい者雇用 企業×福祉施設見学会

3 部会の取組、実施内容

取組	実施内容
一般就労を目指す方に向けた地域におけるプログラムの検討・実施	就労継続支援B型事業所を利用している方が、現在の事業所に在籍しながら、就労移行事業所のプログラムを体験して就労を目指す「大府市版就労支援制度」を試験的に2名実施。体験後、利用者や支援者に部会に参加いただき、実施報告や質疑応答の場を設け、制度について意見交換を行う。
令和7年度実施の就労選択支援における連携について (研修の実施)	「就業・生活支援センターの役割と就労選択支援について」をテーマとし、研修会を開催。今年度から運営受託された「知多地域障害者就業・生活支援センター といろわーく」の越原氏より、事業紹介と支援内容についての講演と令和7年度実施の就労選択支援について情報共有を行う。
企業×福祉施設見学会	地元企業と福祉施設のつながりを深め、障がい者雇用を進める機会を設けることを趣旨として実施。4企業8事業所に協力いただき、令和7年2月以降に実施予定。

4 成果

・一般就労を目指す方に向けた地域におけるプログラムや体制に関する検討

市内の就労継続支援事業所から希望者を募集した。工賃や送迎、保護者の現状維持に対する希望など、本人や事業所の希望はあるものの参加できない方がほとんどであったが、その中から、2名の

方が候補となる。各自の主治医に確認した後、サービス等利用計画の変更やセルプランを提出・支給決定を経て、11月と1月に2名の方が就職トレーニングセンターのプログラムに参加した。1日～3日間のプログラム終了後、就職トレーニングセンターで利用者・事業所職員・プログラム担当者・相談員で振り返りを実施した。体験後の利用者からは、「就職を目指そうと思った」「機会があればまたやってみたい」との感想をいただいた。また、部会にて、利用者・事業所職員・プログラム担当者・相談員から、体験時の様子や感想などの報告の発表をいただき、制度に対する意見交換を行った。工賃や送迎の課題はあるものの、利用者や事業所から、「就労に対する刺激やきっかけになり、これから在職する事業所で就職を目指す」というご意見をいただくことができ、制度実施の目標を達成することができた。

・令和7年度実施の就労選択支援における連携について（研修の実施）

新体制となった「知多地域障害者就業・生活支援センター といろわーく」での具体的な支援や取り組みについてご講演いただく研修会を実施した。研修会には部会員以外の方も参加し、市内の就労継続支援事業所間で情報共有を行うことができた。また、令和7年度実施の就労選択支援についても、情報共有や意見交換を行い、新しく始まる制度の理解に加え、必要な連携や流れについて改めて確認することができた。

5 課題（次年度以降の実施事項）

- ・就労選択支援開始に向けて、今後の就労支援の連携について検討
- ・外出が困難な方の在宅勤務などの就労支援
- ・B型事業所での就職に向けたアプローチや仕事の創出に対するノウハウの獲得
- ・継続した定期的な企業見学
- ・就職に伴い、困難が表出した方への支援（手帳がなく発達特性のある方、児童期から各機関と連携の必要性など）